



フードリボン FOOD RIBBON

リボンがつなぐ「いただきます」

フードリボンプロジェクト 飲食店 × 子ども食堂





メンバー

「役員」

代表理事/発起人：橋本展行

理事/事務局長：加藤紘章

理事：大嶋啓介

理事：大谷順一

理事：大原佳子

幹事：佐伯由香里

「事務局」

森直樹

伊藤智世

執行由利子

橋本匡高

岡本京子

小林友香

久積雅彦

金田優美

大石芳子





リボンがつなぐ「いただきます」

生まれた場所がどこであろうと、育った境遇がどうであろうと、
「ご飯を食べ、社会に見守られ、元気に外を駆けまわる——」

そんな光景が、全ての子ども達にとって当たり前であるよう、
日本中、世界中に活動を届けていきたい！

飲食店によるフードリボン活動が、全国20,000ヶ所で開催される事を
目指して、推進活動に取り組んでいます

地域の大人・飲食店から、子ども達へ。
リボンで繋がれていく、思い。

街に「おもいの循環」を生み出し、
子どもの安心と元気を支え、
どんな困難にも立ち向かっていく
背中を応援していきます。





フードリボンプロジェクトとは？

全国の飲食店を中心に「フードリボン活動」の実施を推進する取り組みです。

フードリボンは、飲食店で子どもが使用すると「食事一人分」と交換されるリボンのことをいいます。

お店のお客様が1つ300円でフードリボンを「先払い」し、子ども達がそのリボンを使うことで「今日の一食と安心」が繋がれていきます。





社会背景



17歳以下の 子どもの貧困率

11.5%

(およそ9人に1人)

※2023年厚生労働省発表「2022年国民生活基礎調査」





子どもがいる世帯の **13.6%**
が、過去一年で「経済的な理由
から家族のために必要な食料を
買えなかった経験がある」
と回答

(内閣府 2017年発表「子供の貧困に関する現状」)

https://www8.cao.go.jp/kodomonohinkon/yuushikisya/k_9/pdf/s2.pdf





子どもに襲いかかる 心の問題

- ・子どもの自己肯定感*1
 - ・若者の自殺死亡率*2
- 共に先進国で最低水準

*1 内閣府(2019年)『子ども・若者白書』

*2 厚生労働省(2019年)『自殺対策白書』





小中学生の不登校数：

2022年 **29万9,048人**（過去最多）

文科省「2022年度（令和4年度）児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」

小中高生のいじめ認知件数：

2022年 **68万1,948件**（過去最多）

文科省「2022年度（令和4年度）児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」

小中高生の自殺：

2021年 **368人**, 2022年 **411人**

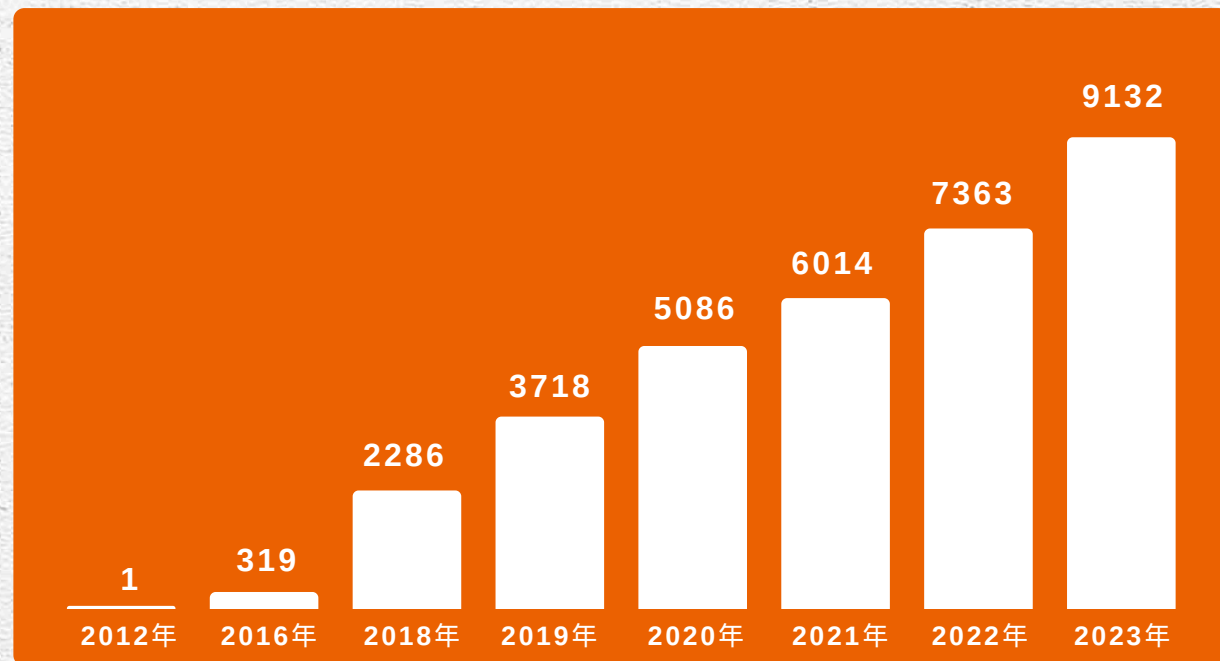
文科省「2022年度（令和4年度）児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」



広がる支援の輪

□子ども食堂□

全国に**9,132**ヶ所
(2023年)



出典：NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ『こども食堂全国箇所数発表2023』



子ども食堂が急増する
一方で、毎日実施は難
しい....!!



今日の食事に困ったら
その日のうちに頼れる
場を全ての子ども達に
届けたい



フードリボンの仕組み

①

フードリボン店参加店の
ステッカーが目印





フードリボンの仕組み

②

店内のボードから
フードリボンを一つ取る





フードリボンの仕組み

③

スタッフさんにリボンを渡す





フードリボンの仕組み

④

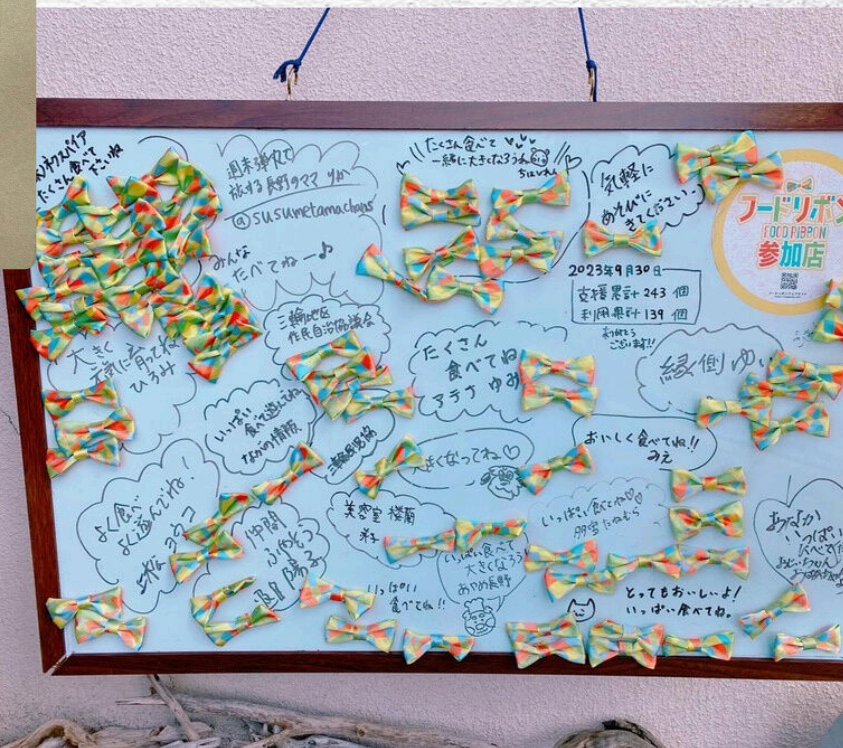
一食分食べられる





フードリボンの仕組み

これらのリボンは、
お店のお客様が1つ300円で
子どもたちの一食として
「先払い」された分が
掲示されています





参加店舗の数： 215ヶ所

実施店舗の数： 142ヶ所

[参加店舗一覧はこちら](#)

集まった支援： 57,437食分

届けた食事： 39,165食分

※2024年8月確認の数値



Funny's Kitchen



大河原 晴子
さん

子どもたちには、「みんなを応援している大人がたくさんいる」ということを知り、安心して育ってほしい。子どもたちが、親に言えない辛いことなどがあった時に、話にきて、頼ってくれるような場所にしていきたい。応援しています。

活動スタート時期：2021年7月

場所：富山県南砺市布袋53-2

フードリボン対象年齢：中学生以下

フードリボン利用時間：営業時間中
(11時～14時)

フードリボン金額：200円



参加のきっかけ

表面には出していなくても悩みや苦しみをたくさん抱えているお母さんたちが、幸せ感を持って子育てができるように何かしたいという想いから参加を決意。

子どもたちも、「家庭以外の世界の一つ」として第三者の大人と関わることで様々な価値観に触れ、世界を広げていってほしい。



開始前の心配事

応援してくださる人がいると感じていたため、「チケットが購入されるか」という心配はあまりなく、COVID-19の影響により経営悪化が進み、このプロジェクトへの参加を途中でやめることにならないかを心配していた。



現在の活動状況

遠慮して使わないという親の遠慮も少しずつ減ってきており、「前よりも外食の頻度が上がったという声」も！「今日もまた使っちゃっていいの？」という遠慮に対しては、「応援してくださっている人々がいらっしゃるから、使ってください」と伝えている。



「お手伝いしてくれた子ども」のエピソード！

お母さんと数回来店したことのある小学5年生の子が、お友だちと6人で来て、夢チケットを利用してさらにデザートは自分たちのお小遣いで頼み、すごく楽しそうに過ごしていた。

後日、その子のお母さんから「娘が、夢食堂の取り組みが素敵だと感じ、人の役に立つことを自分もしたいから、冬休みに1日お手伝いしたいと言っているのだが、可能か」という連絡が来た。その気持ちが嬉しく、注文や水汲みなどをお手伝いしてもらった。娘さんの気持ちはもちろん、お母さんが娘の気持ちをお店までつないでくれたことも嬉しかった！



忙しいお母さんたちに少し楽しんで欲しいという想いが強い。食事の支度が一回減るだけでだいぶ楽だと思うし、その分子どもと接する時間にしてほしい！

様々な業態で

居酒屋



レストラン



ホテル社食



など・・・

コンビニ



大学学食



キッチンカー





全ての子ども達に活動を届け、
日常の食事を支えていくために

全国の小学校区およそ**20,000ヶ所**に、
最低1ヶ所ずつのフードリボン活動実施
を目指しています。



千葉県市川市との提携



田中市長と



こども施策課のみなさんと



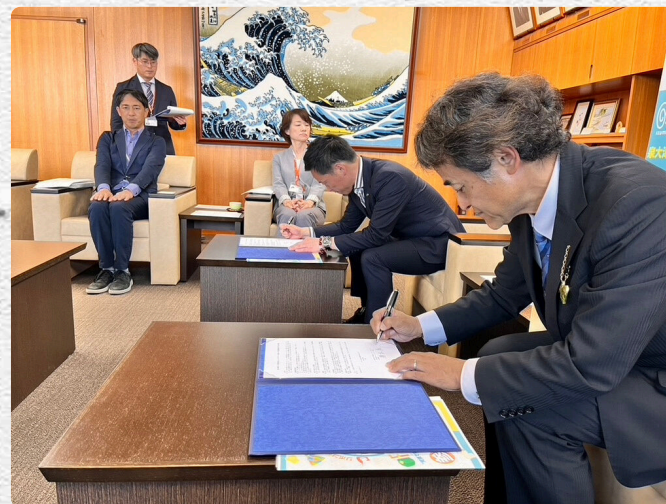
フードリボン活動の参加を 呼びかける店舗訪問



東京ベイ信金・日本大学の 学生と共同で市川市内のフ ードリボンプロジェクト促 進提案



大阪府泉大津市との包括連携協定



香川県宇多津町との包括連携協定



香川県三豊市との包括連携協定



香川県丸亀市との包括連携協定





フードリボンプロジェクトは
持続可能な開発目標「SDGs」
の実現に貢献します

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





フードリボンの制作

飲食店で使用されているフードリボンは、福祉作業場で働くみなさんによって作成されています。

活動に取り組む飲食店が増えることで、障害者雇用の貢献にもつながります。





製作依頼

障がい者の働く、
作業場にリボン製作を
発注

障がい者雇用

リボンやノウハウを
提供

リボンを寄付
¥300



飲食店

店内にリボンを提示



リボン1つで
1食提供



地域の子ども



地域の大人

未来への想いの循環





飲食店 参加/実施 案内



飲食店の方へ：支援/参加方法

フードリボン活動実施の流れ

説明会に参加

(スケジュール・申込は[こちら](#))



個別に打ち合わせ



FacebookとLINEグループに参加



スタート



飲食店の方へ：支援/参加方法

実施の概要

対象

中学生以下（地域性や業態などによって変更可能）

実施時間

お店が可能な時間（例：15:00-18:00）

原則として営業日は毎日（試用期間として週数回からの開始も可）

提供するメニュー

まかない食のイメージ

子どもが来たときにある物で一食分をつくる

料金

フードリボンは一つ300円

※社会情勢によって変動する場合があります

参加の条件

フードリボンプロジェクトの思いと趣旨に賛同して頂けること 31

※加盟金や納付金などはありません



飲食店の方へ：支援/参加方法

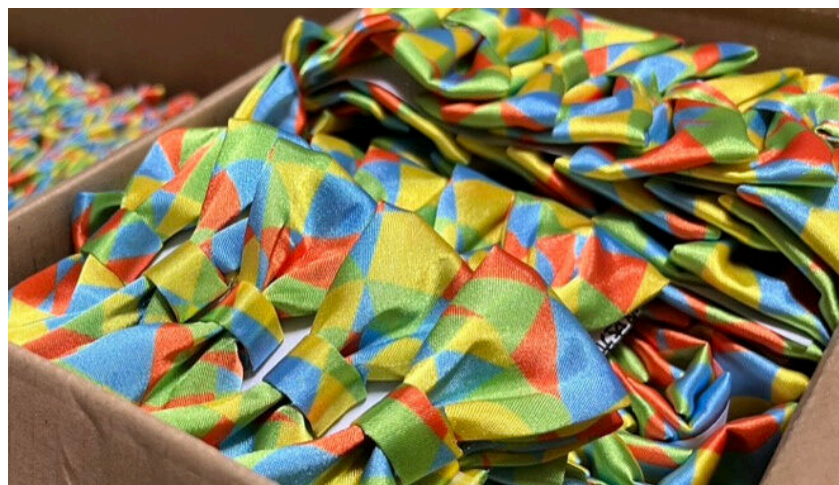
本部から提供するもの

- ・フードリボン100個
- ・ロゴステッカー2枚
- ・店舗向けガイドウェブページ
- ・フードリボンのパンフレットPDF
- ・フードリボンの使い道に関する文書（店内掲示用）

お店で用意するもの

- ・ホワイトボード（フードリボン掲示用）
- ・POPチラシやノボリなど（任意）

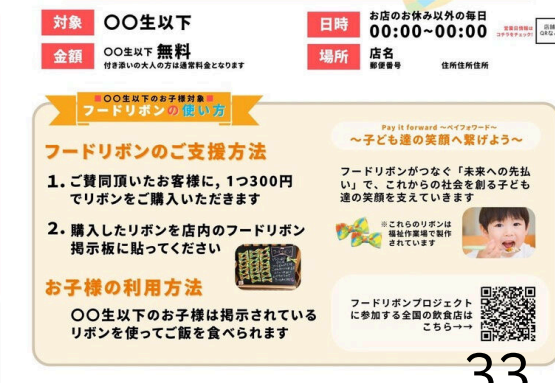
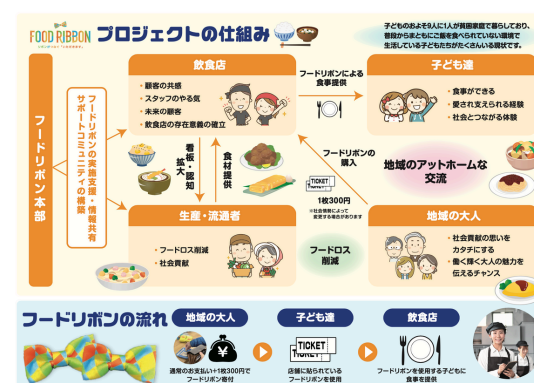
全店舗：
フードリボン100個
参加店ステッカー2枚
リーフレットPDF
パンフレットPDF



希望する店舗：
のぼり旗
チラシ & 看板テンプレ



その他
実施ガイドライン□PDF
ロゴデータ
ZOOM背景など





サポーター会員制度：
月々定額のご支援をいただく制度です。

①法人サポーター会員

月々1万円からの継続的なご支援をいただきます

②個人サポーター会員

月々1000円からの継続的なご支援をいただきます

③一回の寄付

法人の方は一口10万から、個人の方は500円から、
今回のご支援をいただきます

事務局メールアドレス：□info@longspoon.net

ご支援企業・団体様



日本寄付財団



人間力大学



一般社団法人You-Do協会



株式会社アイオプト



株式会社ユニクル



一般社団法人健康美食協会



AIC株式会社



株式会社廣洋社



株式会社アジアビジネストラスト



有限会社 シンプルタスク



株式会社D研究所
加賀屋克美

株式会社
リベラルラボ



グローバルビジネスソリューション
株式会社



emu quest
株式会社エミュークエスト



日本開運学協会®

C&Mコンサルティング EARTH CREATE
株式会社



技術協力企業様



PR TIMES



合同会社MACORURU



株式会社SMILE HEART

COMNET

株式会社コムネット



ぐるっとママ



わちゃわちゃぱっかん
合同会社



フードリボン

リボンがつなぐ「いただきます」

さらに詳しい情報はこちらから



フードリボンウェブサイト

<https://longspoon.net/>



フードリボン店舗紹介

<https://www.gurutto-mama-yokohama.com/detail/767/freepage-1.html>



フードリボン Facebook

<https://www.facebook.com/groups/194507645825161>

